

大田原市事務事業評価兼実施計画シート

令和7年度版

★ PDCAサイクルを回して事務事業を改善しよう！

1. 基本事項

事務事業名		戸籍住民基本台帳費				事業番号	226	評価年度	令和7年度事業
担当名		部名	課名	係名		優先度	A	シート区分	総合計画
予算科目		会計名	款・項・目	事業(大)	事業(中)	事業(小)	施策	No.	
事業期間		■単年度 □複数年度		()		~		年度	
						計画	おおたわら国造りプラン		
						政策	政策6 情報化と広域連携を進め、効率的・効果的な行財政運営のまちづくり		6
						基本事業	(36)行政の効率的・効果的運営		36
						計画での位置付け			

2. 計画(Plan)

(1) 計画内容	対象	この事業で誰(何)を対象にしているかを、具体的に記入します。 本市に本籍がある者及び住民基本台帳に登録されている市民並びに対象者
	目的	何のためにこの事業を行うかを記入します。 戸籍事務:人の出生から死亡までの身分関係を登録し公証する。 住民基本台帳事務:住民の居住関係を公証し、選挙人名簿等登録、その他の事務の処理により住民の届出等の簡素化を図る。
	手段	この事業のためどのような行政活動を行うかを記入し、この行政活動の結果からつくり出すものを活動指標欄(下記)に記入します。 戸籍関係届書の受付及び審査。戸籍簿、除籍簿の保管管理。住民基本台帳及び印鑑登録等届出の受付、戸籍謄抄本、住民票の写し及び戸籍附票、印鑑証明、その他書証明の交付等。
	成果	この事業を行うことによって、どのような成果・効果があるか記入し、その最終的な成果を成果指標欄(下記)に記入します。 戸籍住民基本台帳事務に基づく戸籍届書の受付、審査及び記載。並びに各種証明書等の申請受付、発行交付を適正に行うことにより、住民が行う各種手続きにおける公証性と手続きの簡素化等の利便性を供与する。

(2) 指標設定	指標内容		指標名称	目標値の算出式(又は方法)	目標値	単位
	活動指標	行政活動の結果からつくりだすもの	① 戸籍届出受付件数	実績に基づく(令和4年度)	3,100	件
② 住民登録事務取扱件数			実績に基づく(令和4年度)	11,000	件	
③ 窓口事務(有料住・印交付件数)			実績に基づく(令和4年度)	35,000	件	
成果指標	事業実施による最終的な成果・効果	① 戸籍届出受付件数	実績に基づく	3,100	件	
		② 住民登録事務取扱件数	実績に基づく	11,000	件	
		③ 窓口事務(有料住・印交付件数)	実績に基づく	35,000	件	

3. 実行(Do)

(1) 事業の実施状況(前年度比較等) ※新規事業は事業が必要な理由及び概要	戸籍届出の受付受理、戸籍記載や住民登録事務等を行い、戸籍謄抄本や住民票の写し、印鑑登録証明書等を発行することで身分や住所等を公証している。 令和7年度に戸籍にふりがなが記録されることとなる。それに係る事務費について国から補助金の有無や詳細な事項は未だ示されていないが、明示され次第速やかに対応したい。
(2) 備考	令和5年6月9日に公布された「行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律」(令和5年6月9日法律第48号。以下「改正法」という。)に基づき、改正法附則第1条3号に定める日以降、順次戸籍に氏名のふりがなが記録されることとなる。現在施行日は令和7年5月頃、という情報のみで明確な日には決定されていない。

(3) コスト計算	内容		令和5年度	令和6年度		
			決算額	予算額		
事業費計			10,562	7,917		
財源内訳	国庫支出金		0	0		
	県支出金		0	0		
	地方債		0	0		
	その他特定財源		0	0		
	一般財源		10,562	7,917		
(c) コストの対前年比				74.96%		

4. 評価 (Check)

(1) 妥当性 評価	評価内容			評価点数	合計点数	妥当性評価
	① 自治体が実施するのが妥当な事業である(あった)か。	妥当性	高い・・・	4	4	16
② 計画(対象・目的・手段)は妥当である(あった)か。	やや高い・・・		3	4		
③ 資金(税金)投入は妥当である(あった)か。	やや低い・・・		2	4		
④ 上位政策・施策を達成するのに妥当である(あった)か。	低い・・・		1	4		

(2) 効率性 評価	活動指標名	目標値 a	実績値 b	指標の性質		達成率 b/a	効率性評価			
		単位					各指標評価	指標全体評価		
①	戸籍届出受付件数	3,100	件	3,110	1	増加指標	100.30	%	a	a
②	住民登録事務取扱件数	11,000	件	13,238	1	増加指標	120.30	%	a	
③	窓口事務(有料住・印交付件数)	35,000	件	29,834	2	減少指標	100.00	%	a	

(3) 有効性 評価	成果指標名	目標値 c	実績値 d	指標の性質		達成率 d/c	有効性評価			
		単位					各指標評価	指標全体評価		
①	戸籍届出受付件数	3,100	件	3,110	1	増加指標	100.30	%	a	a
②	住民登録事務取扱件数	11,000	件	13,238	1	増加指標	120.30	%	a	
③	窓口事務(有料住・印交付件数)	35,000	件	29,834	2	減少指標	100.00	%	a	

(4) 担当課 評価	前年度記載 今後の取組 (修正、改善 等)		窓口での事務は丁寧かつ適正な対応を行うことを努力し、またスピーディな発行処理が行えるよう研修等により知識の習得やスキルアップに努めたい。初めて来庁されるお客様にも不便をかけることがないよう、声をかけながら、より丁寧で的確な対応を心掛けたい。 また、事例の多くない届などについては、マニュアルや事例集を作成したい。
	前年度からの 改善結果	改善した	窓口での事務は丁寧かつ適正な対応を行うことを努力し、またスピーディな発行処理が行えるよう研修等により知識の習得やスキルアップに努めたい。初めて来庁されるお客様にも不便をかけることがないよう、声をかけながら、より丁寧で的確な対応を心掛けたい。
	評価表からの 評価	担当課 評価	評価の理由等
	A	A	窓口での受付には細心の注意を払い、正確な事務処理を行うことができた。各担当者によるマニュアルの作成や複数人でのチェック体制により、小さなミスを減らしながら正確な対応を行っている。日頃から各々が知識の習得に努め、迅速かつ丁寧な対応を心がけている。

5. 今後の取組に向けて (Act)

(1) 事業実施上の 課題等	戸籍のふりがな表記事務について、国からの通知などを確認し、外部委託や内部での処理方法などを検討のうえ、適正な事務を行いたい。
(2) 今後の取組 (修正・改善等)	窓口での事務は丁寧かつ適正な対応を行うことを努力し、またスピーディな発行処理が行えるよう研修等により知識の習得やスキルアップに努めたい。初めて来庁されるお客様にも不便をかけることがないよう、声をかけながら、より丁寧で的確な対応を心掛けたい。

6. 部内評価会議の結果 <最終評価>・・・行政評価

実施日	最終評価	今後の取組(修正・改善等)【最終結果】
R06.07.10	A	・戸籍届出受付件数は3,110件、窓口事務取扱件数29,834件であり、目標を達成することができた。 ・丁寧かつ適正な窓口対応を行い、スピーディーに発行処理ができるよう、係員間での研修やOJTによって職員のスキル向上に努め、ひいては苦情の抑制につなげることができた。